特許協力条約

<u></u>	_		
REC'D	30	JAN	2096
WIPO			FCT
AAILO			

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条)

[PCT36 条及びPCT規			
出願人又は代理人 の書類記号 P36868-P0	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP2004/016126	国際出願日 (日. 月. 年) 29. 10. 2004	優先日 (日.月.年) 30.10.	2003
国際特許分類(I P C) Int.Cl. G09G5/02 G09G3/36	(2006.01), G02F1/133(2006.01), G0 (2006.01), H04N9/64(2006.01)	09G3/20(2006.01), G09G3/34(2006.	01),
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社			
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条) (この国際予備審査機関で作成された D規定に従い送付する。	国際予備審査報告である。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙		ページからなる。	
3.この報告には次の附属物件も添付さ	れている。		
a. 🔽 附属魯類は全部で	8 ページである。 	3 6 . A	
囲及び/又は図面の用紙	を礎とされた及び/又はこの国際予備 (PCT規則 70. 16 及び実施細則第 60)7 芳香原)	
原 第 I 欄 4 . 及び補充欄に 国際予備審査機関が認定し	示したように、出願時における国際 出 した差替え用紙	願の開示の範囲を超えた補正を含む	むものとこの
 b.		(電子媒体の種類、	
配列表に関する補充欄に示す (実施細則第802号参照)	けように、電子形式による配列表又は	配列表に関連するテーブルを含む	0
4. この国際予備審査報告は、次の内容	 Fを含む。		
▼ 第 I 梱 国際予備審査 第 I 梱 優先権		Attack + + + OT / Little	
	- 11 - 12 - 1 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11		
第四欄 新規性、進場	b性又は産業上の利用可能性について キのケ如		
□ 第Ⅲ欄 新規性、進場 第Ⅳ欄 発明の単一性 ☑ 第Ⅴ欄 PCT35条(生の欠如 2)に規定する新規性、進歩性又は産乳		それを裏付
□ 第Ⅲ欄 新規性、進地 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性 ☑ 第V欄 PCT35条(けるための)	きの欠如 2)に規定する新規性、進歩性又は産う と献及び説明		それを裏付
□ 第Ⅲ網 新規性、進地 新規性、進地 第Ⅳ網 発明の単一性 第 V欄 PCT35条(けるための3 第 VI欄 ある種の引, 第 VI欄 国際出願の2	きの欠如 2)に規定する新規性、進歩性又は産ジ 対献及び説明 用文献 F備		それを裏付
□ 第Ⅲ欄 新規性、進地 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性 ☑ 第V欄 PCT35条(けるための) □ 第Ⅵ欄 ある種の引	きの欠如 2)に規定する新規性、進歩性又は産ジ 対献及び説明 用文献 F備		それを裏付
 第Ⅲ欄 新規性、進歩 第Ⅳ欄 発明の単一性 第Ⅴ欄 PCT35条(けるためのご 第Ⅵ欄 ある種の引, 第Ⅶ欄 国際出願のご 第Ⅷ欄 国際出願に対 	きの欠如 2) に規定する新規性、進歩性又は産業 文献及び説明 用文献 下備 対する意見	楽上の利用可能性についての見解、	それを裏付
□ 第Ⅲ欄 新規性、進地 第Ⅳ欄 発明の単一性 第Ⅴ欄 発明の単一性	きの欠如 2) に規定する新規性、進歩性又は産業 文献及び説明 用文献 下備 対する意見		それを裏付
□ 第Ⅲ欄 新規性、進地 第Ⅳ欄 発明の単一性 第Ⅳ欄 発明の単一性 第V欄 PCT35条(けるための) 第Ⅵ欄 国際出願の 第Ⅶ欄 国際出願に対 第四欄 国際出願に対 第四側 国際子備審査の 前求書を受理した日 30.05.2005	きの欠如 2) に規定する新規性、進歩性又は産業 文献及び説明 用文献 下備 対する意見 国際予備審:	業上の利用可能性についての見解、 を報告を作成した日 16.01.2006	それを裏付 2G 9707
□ 第Ⅲ欄 新規性、進地 第Ⅳ欄 発明の単一性 第Ⅴ欄 PCT35条(けるための)	きの欠如 2) に規定する新規性、進歩性又は産業 文献及び説明 用文献 下備 対する意見 国際予備審	業上の利用可能性についての見解、	
□ 第Ⅲ欄 新規性、進地 第Ⅳ欄 発明の単一性 第Ⅴ欄 PCT35条(けるための)	きの欠如 2) に規定する新規性、進歩性又は産業 対献及び説明 用文献 下備 対する意見 国際予備帝 特許庁審査 P) 5	業上の利用可能性についての見解、 を報告を作成した日 16.01.2006	2G 9707

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2005年4月)

東京都千代田区設が関三丁目4番3号

特許性に関する国際予備報告

第I相	倒	報告の基礎
7 1	語	こ関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。
r	<u></u>	出願時の骨磨による国際出願
ſ	7.1 	出願時の言語から次の目的のための官語である
-	[「! 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
		□ 国際公開 (PCT規則12.4(a))□ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))
2. 3	この: と差	報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され 替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)
J		出願時の国際出願書類
١	V .	明細魯
		第 1-3, 7-8 0 ページ、出願時に提出されたもの
		第 4,4/1,5,6,6/1 ページ*、2005.05.30 付けで国際予備審査機関が受理したもの付けで国際予備審査機関が受理したもの付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第 付けで国際で偏番生機関が支煙したもの
	Y.	請求の範囲
		第2-6,9 項、出願時に提出されたもの 第二 項*、PC 19条の規定に基づき補正されたもの
		第1 7-8 第2005.05.30 何けで国際下偏衛宜機関が支煙したもの
		第 <u>「</u>
	Y	図面
		第 <u>1-30</u> ページ /図 、出願時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第 1 − 3 0
		配列表又は関連するテーブル
	L	配列表に関する補充欄を参照すること。
}		
3.		補正により、下記の書類が削除された。
		□ 明細書 第
ì		□ 明細書 第
		図面 第 ご 配列表(具体的に記載すること)
		配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)
1		
4.		この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70. 2(c))
1		 明細書 第 ページ ・
İ		「
1		「図面 第 ページ/図 「配列表(具体的に記載すること)
		配列表に関連するテーブル (具体的に配載すること)
1		
*	4.	に該当する場合、その用紙に"superseded"と記入されることがある。
	-	

機式PCT/IPEA/409 (第I欄) (2005年4月)

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/016126

見解		
新規性(N)	間求の範囲 <u>1-9</u> 調求の範囲	
進歩性(IS)	請求の範囲 <u>1 - 9</u> 請求の範囲	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-9	

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

請求の範囲1-9に係る発明は、国際調査報告で引用された何れの文献にも開示されておらず、新規性及び進歩性を有する。特に、所定色の色成分を有する画素が隣接して複数個存在する領域がある場合、第1の色補正により得られた第1の色信号及び第2の色補正により得られた第2の色信号を、一つまたは隣接する複数の画素毎に交互に選択するための所定のパターンに従って、前記領域の画素毎に第1の色信号及び第2の色信号の何れかを選択することによって、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける工程生成手段を備える点は、何れの文献にも開示されていない。

第四個 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細暦及び図面の明瞭性又は諮求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

補正により、請求の範囲1の高低生成手段の構成が変更されたが、当該請求の範囲1 を引用する請求の範囲6では出願当初のままにしているため、両者の整合性が取れていない。

請求の範囲6では、「前記高低生成手段は、前記表示手段が前記画素に表示するタイミングを決定する信号を利用して、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける」としているが、補正後の請求の範囲1の「高低生成手段」のどの構成に、「画素に表示するタイミングを決定する信号を利用」がかかるのかが曖昧な記載となっている。

発明の開示

- [0024] 本発明は、上記課題を考慮し、色の見え方の違和感が減少する表示装置、表示方法、プログラム、及び記録媒体を提供することを目的とするものである。
- [0025] 上述した課題を解決するために、第1の本発明は、一つの画素が3原色に白色を加えた4色の色で表示可能であり、前記4色の色の混合比に対応する色信号を入力し表示する表示装置において、

前記画素に対応する前記色信号に所定の色の成分が存在する場合、その色信号の彩度を増加させる第1の色補正と、その色信号の白成分を増加させる第2の色補正とを行う色補正手段と、

前記第1の色補正により得られた第1の色信号及び前記第2の色補正により得られた第2の色信号のいずれかを時間的に切り替えて選択する選択手段と、

その選択された方の色信号を前記画素に表示する表示手段とを備えた、表示装置である。

[0026] また、第2の本発明は、一つの画素が3原色に白色を加えた4色の色で表示可能であり、前記4色の色の混合比に対応する色信号を入力し、色数を減じることなく表示する表示装置において、

前記画素に対応する前記色信号に所定の色の成分が存在する場合、その色信号の彩度を増加させる第1の色補正と、その色信号の白成分を増加させる第2の色補 正とを行う色補正手段と、

前記所定の色の成分を有する画素が隣接して複数個存在する領域がある場合、前記第1の色補正により得られた第1の色信号及び前記第2の色補正により得られた第2の色信号を、一つまたは隣接する複数の画素毎に交互に選択するための所定のパターンに従って、前記領域の画素毎に前記第1の色信号及び前記第2の色信号のいずれかを選択することによって、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける高低生成手段と、

その少なくとも彩度の髙低がつけられた前記領域を表示する表示手段とを備えた、 表示装置である。

[0027] また、第3の本発明は、前記所定の色とは、黄色、またはマジェンダ色、またはシアン

日本国特許庁 30.5.2005

色である、第1または2の本発明の表示装置である。

[0028] また、第4の本発明は、前記3原色とは、赤色、緑色、及び青色である、第1または2

の本発明の表示装置である。

- [0029] また、第5の本発明は、前記色信号は、RGB信号である第1または2の本発明の表示装置である。
- [0030] また、第6の本発明は、前記所定の色が黄色である場合、前記色補正手段は、前 記画素に対応する前記色信号に黄色の成分が存在する場合、その色信号のB信号 の値を減少させることによって前記第1の色補正を行い、その色信号のB信号の値を 増加させることによって前記第2の色補正を行う、第5の本発明の表示装置である。
- [0031] また、第7の本発明は、前記選択手段は、前記表示手段が前記画素に表示するタイミングを決定する信号を利用して、前記第1の色信号及び前記第2の色信号のいっていた。 ずれかを時間的に切り替えて選択する、第1の本発明の表示装置である。
- [0032] また、第8の本発明は、前記高低生成手段は、前記表示手段が前記画素に表示するタイミングを決定する信号を利用して、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける、第2の本発明の表示装置である。
- [0033] また、第9の本発明は、一つの画素が3原色に白色を加えた4色の色で表示可能であり、前記4色の色の混合比に対応する色信号を入力し表示する表示方法において

前記画素に対応する前記色信号に所定の色の成分が存在する場合、その色信号の彩度を増加させる第1の色補正と、その色信号の白成分を増加させる第2の色補正とを行う色補正ステップと、

前記第1の色補正により得られた第1の色信号及び前記第2の色補正により得られた第2の色信号のいずれかを時間的に切り替えて選択する選択ステップと、

その選択された方の色信号を前記画素に表示する表示ステップとを備えた、表示 方法である。

[0034] また、第10の本発明は、一つの画素が3原色に白色を加えた4色の色で表示可能であり、前記4色の色の混合比に対応する色信号を入力し、色数を減じることなく表示する表示方法において、

前記画素に対応する前記色信号に所定の色の成分が存在する場合、その色信号 の彩度を増加させる第1の色補正と、その色信号の白成分を増加させる第2の色補 正とを行う色補正ステップと、

前記所定の色の成分を有する画素が隣接して複数個存在する領域がある場合、前記第1の色補正により得られた第1の色信号及び前記第2の色補正により得られた第2の色信号を、一つまたは隣接する複数の画素毎に交互に選択するための所定のパターンに従って、前記領域の画素毎に前記第1の色信号及び前記第2の色信号のいずれかを選択することによって、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける高低生成ステップと、

その少なくとも彩度の高低がつけられた前記領域を表示する表示ステップとを備えた、表示方法である。

- [0035] また、第11の本発明は、第1の本発明の表示装置の、前記画素に対応する前記色信号に所定の色の成分が存在する場合、その色信号の彩度を増加させる第1の色補正と、その色信号の白成分を増加させる第2の色補正とを行う色補正手段と、前記第1の色補正により得られた第1の色信号及び前記第2の色補正により得られた第2の色信号のいずれかを時間的に切り替えて選択する選択手段としてコンピュータを機能させるためのプログラムである。
- [0036] また、第12の本発明は、第2の本発明の表示装置の、前記画素に対応する前記色信号に所定の色の成分が存在する場合、その色信号の彩度を増加させる第1の色補正と、その色信号の白成分を増加させる第2の色補正とを行う色補正手段と、前記所定の色の成分を有する画素が隣接して複数個存在する領域がある場合、前記第1の色補正により得られた第1の色信号及び前記第2の色補正により得られた第2の色信号を、一つまたは隣接する複数の画素毎に交互に選択するための所定のパターンに従って、前記領域の画素毎に前記第1の色信号及び前記第2の色信号のいずれかを選択することによって、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける高低生成手段としてコンピュータを機能させるためのプログラムである。
- [0037] また、第13の本発明は、第11または12の本発明のプログラムを担持した記録媒体であって、コンピュータにより処理可能な記録媒体である。
- [0038] また、第14の本発明は、一つの画素が3原色に白色を加えた4色の色で表示可能であり、前記4色の混合比に対応する色信号が入力され、表示される表示装置であ

日本国特許庁 30.5.2005

って、

所定領域の各画素に対応する各色信号に所定の色成分が含まれているか否かを 検出する色検出手段と、

前記色信号の彩度を増加させ、前記1の色信号を作成する第1の色補正と、前記

請求の範囲

[1] (補正後) 一つの画素が3原色に白色を加えた4色の色で表示可能であり、前記4 色の色の混合比に対応する色信号を入力し、色数を減じることなく表示する表示装置 において、

前記画素に対応する前記色信号に所定の色の成分が存在する場合、その色信号の彩度を増加させる第1の色補正と、その色信号の白成分を増加させる第2の色補正とを行う色補正手段と、

前記所定の色の成分を有する画素が隣接して複数個存在する領域がある場合、前記第1の色補正により得られた第1の色信号及び前記第2の色補正により得られた第2の色信号を、一つまたは隣接する複数の画素毎に交互に選択するための所定のパターンに従って、前記領域の画素毎に前記第1の色信号及び前記第2の色信号のいずれかを選択することによって、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける高低生成手段と、

その少なくとも彩度の高低がつけられた前記領域を表示する表示手段とを備えた、表示装置。

- [2] 前記所定の色とは、黄色、またはマジェンダ色、またはシアン色である、請求の範囲 第1項記載の表示装置。
- [3] 前記3原色とは、赤色、緑色、及び青色である、請求の範囲第1項記載の表示装置。
- [4] 前記色信号は、RGB信号である請求の範囲第1項記載の表示装置。
- [5] 前記所定の色が黄色である場合、前記色補正手段は、前記画素に対応する前記色信号に黄色の成分が存在する場合、その色信号のB信号の値を減少させることによって前記第1の色補正を行い、その色信号のB信号の値を増加させることによって前記第2の色補正を行う、請求の範囲第4項記載の表示装置。
- [6] 前記高低生成手段は、前記表示手段が前記画素に表示するタイミングを決定する信号を利用して、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける、請求の範囲第1項記載の表示装置。
- [7] (補正後) 一つの画素が3原色に白色を加えた4色の色で表示可能であり、前記4 色の色の混合比に対応する色信号を入力し、色数を減じることなく表示する表示方法

日本国特許庁 30.5.2005

において、

前記画素に対応する前記色信号に所定の色の成分が存在する場合、その色信号の彩度を増加させる第1の色補正と、その色信号の白成分を増加させる第2の色補正とを行う色補正ステップと、

× . . .

30, 5, 2005

前記所定の色の成分を有する画素が隣接して複数個存在する領域がある場合、前記第1の色補正により得られた第1の色信号及び前記第2の色補正により得られた第2の色信号を、一つまたは隣接する複数の画素毎に交互に選択するための所定のパターンに従って、前記領域の画素毎に前記第1の色信号及び前記第2の色信号のいずれかを選択することによって、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける高低生成ステップと、

その少なくとも彩度の高低がつけられた前記領域を表示する表示ステップとを備えた、表示方法。

[8] (補正後) 請求の範囲第1項記載の表示装置の、前記画素に対応する前記色信号 に所定の色の成分が存在する場合、その色信号の彩度を増加させる第1の色補正と 、その色信号の白成分を増加させる第2の色補正とを行う色補正手段と、

前記所定の色の成分を有する画素が隣接して複数個存在する領域がある場合、前記第1の色補正により得られた第1の色信号及び前記第2の色補正により得られた第2の色信号を、一つまたは隣接する複数の画素毎に交互に選択するための所定のパターンに従って、前記領域の画素毎に前記第1の色信号及び前記第2の色信号のいずれかを選択することによって、前記領域に少なくとも彩度の高低をつける高低生成手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

[9] 請求の範囲第8項記載のプログラムを担持した記録媒体であって、コンピュータにより処理可能な記録媒体。

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record.

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
OTHER.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.